

第五次藤井寺市総合計画 進捗状況調査結果（概要）

令和 4 年 9 月

目次

I.調査概要	1
1.実施目的	1
2.実施方法	1
3.評価結果	1
II.調査結果	2
基本方針 1 安心して子どもを生み育て、未来を拓くまちづくり	2
基本方針 2 心豊かに学び、暮らせるまちづくり	6
基本方針 3 思いやりとふれあいのあるまちづくり	9
基本方針 4 にぎわいと新たな活力を生むまちづくり	11
基本方針 5 歴史文化と調和し、多様な交流を広げるまちづくり	15
基本方針 6 快適で良好な生活空間のあるまちづくり	18
基本方針 7 すべての市民が輝き、健やかで、皆で支え合うまちづくり	21
基本方針 8 災害に強く、安心して暮らせるまちづくり	27
基本方針 9 人に、未来にやさしい、環境に配慮したまちづくり	31
まちづくりの推進に向けて	33

I.調査概要

1.実施目的

第五次藤井寺市総合計画後期基本計画で進めてきた各施策の進捗状況及び達成状況の確認を行い、そこで導き出された課題を整理し、第六次藤井寺市総合計画で取り組むべき施策の方向を明確にすることを目的に実施した。

2.実施方法

第五次藤井寺市総合計画後期基本計画の施策分野ごとに該当する担当課に「藤井寺市施策検証シート」を配布し、施策に該当する課から調査シートの回収を行った。なお、1つの施策分野に複数の担当課が該当する場合は、該当するすべての課に調査シートの該当部分の回答を求めた。

庁内の施策検証（内部評価）で実施した主要施策単位での評価基準は、次の4段階で評価した。

区分		評価の参加基準
A	計画通り進行	当初の計画通りに進行している場合
B	概ね計画通りだが一部未実施・未達成	概ね当初の計画通り進行しているが、一部未実施・未達成がある場合
C	未着手	当初の計画はあるが事業着手していない場合
D	完了・廃止	現在までで完了している場合、あるいは成果が見込めないため廃止する場合

3.評価結果

庁内の施策検証（内部評価）について、第五次藤井寺市総合計画後期基本計画に記載されている10分野43施策の主要130施策について4段階評価（A：計画通り進行、B：概ね計画通りだが一部未実施・未達成、C：未着手、D：完了・廃止）した結果は以下のとおりです。

主要施策の評価結果集計結果				
A	B	C	D	計
58	69	1	2	130

Ⅱ.調査結果

基本方針 1 安心して子どもを生み育て、未来を拓くまちづくり

施策 No		施策名					
1-1		子育て支援の推進					
令和 3 年度までの施策の進捗状況							
多様化する保育ニーズに対応するため、時間外保育事業（延長保育）や一時預かり事業、病児・病後児保育事業を実施することができ、計画当初に想定していた見込量に対する確保方策は達成している。また、子どもの貧困対策のための実態調査、医療費助成の対象年齢拡大や妊婦に対する経済的支援の拡充も実施しており、おおむね計画通り施策を実施することができている。また、市の公式 LINE を活用した情報発信を新たに実施するなど、ニーズや社会潮流にあわせた取組を行った。そのほか、地域の親子の交流や相談などができる場として、令和 2 年度には地域子育て支援拠点を 1 施設増設し拡充を図ることができている。							
待機児童数については、民間保育施設を誘致し、令和 2 年度に開園したことにより、待機児童の解消に一定の目的が立ち、当初の目標は達成した。しかし、令和 3 年度には、令和 2 年度のような新規開園施設もなく、また簡易保育施設が令和 2 年度より 1 か所減少し、待機児童数が増加しているため対応が必要である。							
主要施策				評価			
				A	B	C	D
1	子育てに関する支援の充実				●		
2	地域における子育て支援の充実			●			
3	援助を必要とする子どもや家庭に対する支援の充実			●			
まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
就学前教育・保育の確保量	人	1 号認定 1,298	1 号認定 1,079	1 号認定 939	1 号認定 939	○計画通り	令和 3 年 3 月 31 日に藤井寺北幼稚園を藤井寺幼稚園に統合したことで、供給過多となっている 1 号認定の確保量を、計画通り減少することができた。
		2 号認定 722	2 号認定 817	2 号認定 817	2 号認定 862	△横ばい	新規開設施設はなく、既存施設の定員増もなかったため、確保量の増減はなかった。
		3 号認定 474	3 号認定 572	3 号認定 572	3 号認定 597	△横ばい	新規開設施設はなく、既存施設の定員増もなかったため、確保量の増減はなかった。
地域子育て支援拠点事業の確保量	人	11,891	22,424	22,424	16,473	○計画通り	令和 2 年度にふじみ保育園の誘致により確保量を拡大し、令和 3 年度においても引き続き実施し、確保量を確保できている。

病児・病後 児保育事業 の確保量	人	1,952	3,172	3,172	3,172	◎目標 値達成	令和 2 年 4 月に開園したふ じみ保育園において病後児 対応型と体調不良児対応型 を実施したことにより、目標値 を達成し ており、令和 3 年度においても 引き続き実施し、確保量を確 保できている。
赤ちゃんの 駅整備環境 に対する満 足度	—	90.9	100	93.5	上昇	○計画 通り	アンケート内に要望についての 記載があれば、実現可能な 範囲で対応していることが、高い 満足度を維持できていると思 われる。
子育て支援 アプリの累計 インストール 数	件	1,392	1,760	1,902	2,321	—	ニーズや利便性、費用対効 果を考慮し、令和 4 年 2 月 に LINE 公式アカウントにアプ リ機能を移行し、3 月をもって アプリを閉鎖した。

施策 No		施策名			
1-2		学校教育の充実			
令和 3 年度までの施策の進捗状況					
学力向上については、GIGA スクール構想実現のため、全児童・生徒にタブレットの配付は完了しており、より一層の教育の ICT 化を進めている。また、市内 5 校をスクールエンパワーメント研究モデル校に指定し、教職員の授業力向上を図り、児童生徒の学力向上に取り組んでいる。そのほか、小中学校に配置している ALT（外国語指導助手）による授業の展開や藤井寺市独自の世界遺産学習などに引き続き取り組んでいる。しかし、まだまだ調査研究段階であり、まちづくり指標の達成や学力向上には結びつけることができていないため、ICT や英語学習において、事例の共有や教員研修などを行う必要がある。 健やかな体の育成やいじめや暴力行為などの事案への対応など、おおむね計画通り各種取組を実施している。また支援教育の推進については、相談の機会を設けたり、教員への研修を行うなど取組を行っているが、ニーズの高まりもあり、研修の充実や人材確保が課題となっている。 学校の施設整備については、学校施設等整備実行計画に基づいて順調に施設整備が進んでいる。 教員の働き方改革に関しては、引き続き様々な人材支援の活用や勤務状況の調査をし、校務支援システムの構築に取り組んでおり、事務処理の簡略化を進めている。 全体を通して、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面かつ集まって行う事業については制限しなくてはならない状況が続いている。					
主要施策		評価			
		A	B	C	D
1	「確かな学力の育成」をめざした特色ある教育活動の推進		●		
2	国際理解教育、外国語活動、英語教育の充実		●		
3	情報教育の充実		●		
4	健やかな体の育成		●		
5	いじめ・暴力行為等の防止や不登校児童生徒への対応		●		
6	支援教育の推進		●		

7	学校教育環境の整備				●			
8	教職員の働き方改革					●		
まちづくり指標								
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因	
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度			
全国学力学習状況調査の自己肯定感の回答率 (質問項目：自分には良いところがあると思う)	%	小：77.1	－	小：71.6	小：85.0	×下降	新型コロナウイルス感染症拡大により児童が主体的に活動できる行事等が減少したため。	
		中：64.8	－	中：64.4	中：75.0	△横ばい	新型コロナウイルス感染症拡大により生徒が主体的に活動できる行事等が減少したため。	
藤井寺市学校施設改修（早期耐震化）計画耐震化率	%	100	100	100	達成済	◎目標値達成	計画通り目標を達成済み。	
藤井寺市立学校施設等整備実行計画 推進率	%	38.6	42.1	55.2	63.1	○計画通り	計画通り進められている。令和 4 年度以降は、公共施設保全計画に取り込み、公共施設全体の中で優先順位付けを行うこととなる。	

施策 No		施策名			
1-3		青少年健全育成の推進			
令和 3 年度までの施策の進捗状況					
放課後児童の安全・安心な居場所確保のため、放課後児童会において待機児童が発生しないよう、適宜関係各所と協議をし、必要な実施場所や指導員を確保することができており、令和 2 年度に引き続き待機児童 0 を達成することができた。					
放課後こども教室推進事業においては、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、令和 2 年度より様々な取り組みを実施することはできたが、一部事業で制限があった。また、地域で青少年を育成するという点においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の方々の協力を得られにくい状況が続いている。					
主要施策		評価			
		A	B	C	D
1	放課後児童の安全・安心な居場所の確保	●			
2	地域ぐるみで青少年を健全に育成するための仕組みづくり		●		
3	体験や交流機会の充実		●		

まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
放課後児童会の全学年受け入れ実施校数	校	7	7	7	達成済	◎目標値達成	計画通り目標を達成済み。
放課後児童会の待機児童数	人	17	0	0	0	○計画通り	関係各所との協議により、実施に必要な場所や人員の確保ができたため。
放課後児童会と放課後子ども教室の一体型運営の実施数	校	7	7	7	達成済	◎目標値達成	放課後児童会との連携体制はすでにできている。

基本方針 2 心豊かに学び、暮らせるまちづくり

施策 No		施策名							
2-1		生涯学習の推進							
令和 3 年度までの施策の進捗状況									
生涯学習の推進のため、公民館講座の見直しや新たな文化教室の設定、企業との連携によるスマートフォン講座の実施を行うなど、利用者ニーズや社会環境に対応した講座を充実することができた。また、市民や団体の生涯学習活動の発展のため、新たな情報発信手法も実施している。図書館サービスは、学校図書館システムとの連携構築やボランティアとの連携による読書活動を推進している。									
全体を通して、新型コロナウイルス感染症対応のため、イベントやサービスの制限、施設の休館などを行っており、市民の学習機会の提供の機会を設けられていないことが課題となっている。									
主要施策						評価			
						A	B	C	D
1	生涯学習推進体制の構築						●		
2	読書環境の整備及び図書館サービスの向上						●		
まちづくり指標									
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因		
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度				
生涯学習グループ登録団体数	団体	66	58	57	80	×下降	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、人数制限や換気等感染対策を実施したが休館期間や利用団体の自粛の影響があったため。		
公民館講座等全講座の延受講者数	人	5,217	1,429	1,431	6,000	×下降	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、人数制限や換気等感染対策を実施したが休館期間や受講者自身の自粛の影響があったため。		
生涯学習センター施設利用稼働率	%	33.2	15.1	17.6	35.0	×下降	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、人数制限や換気等感染対策を実施したが休館期間や利用団体の自粛の影響があったため。		
個人貸出冊数	冊	280,365	199,517	217,623	280,000	△横ばい	新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館中も予約資料の貸出は行っていたが、外出抑制など図書館の利用に影響があった。		
団体貸出冊数	冊	13,011	9,265	12,555	15,000	△横ばい	新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館中も予約資料の貸出は行っていたが、外出抑制など図書館の利用に影響があった。		

施策 No		施策名						
2-2		文化・芸術活動の推進						
令和 3 年度までの施策の進捗状況								
新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、活動の場を提供するための施設改修、市民の文化活動を推進する取組、文化・芸術の鑑賞や参加の機会提供を行うことができ、おおむね計画通り進めることができています。まちづくり指標においても前年度と比べて上昇することができたが、コロナ前の数値にまでは戻っていない。								
主要施策					評価			
					A	B	C	D
1	文化・芸術活動の推進				●			
2	文化・芸術に触れる機会の充実				●			
まちづくり指標								
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因	
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度			
ふじいでら文化ふれあいまつり入場者数	人	1,584	188	795	2,000	×下降	新型コロナウイルスの影響を踏まえ、市民による手作り作品の展示会や人形劇、オーケストラ鑑賞を実施したものの、多数の人が参加する市民による舞台発表の実施は見送ったため。	

施策 No		施策名			
2-3		スポーツ活動の推進			
令和 3 年度までの施策の進捗状況					
市民ニーズに対応するため、適宜施設等の充実・修繕を実施している。 スポーツ振興事業については、体育館施設が新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場となっており、可能な範囲でのスポーツ事業を行っているものの実施困難な状況が続いている。					
主要施策		評価			
		A	B	C	D
1	スポーツ推進基本計画の推進		●		
2	市民の多様なニーズに対応した環境の整備	●			
3	スポーツ振興事業の充実		●		

まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
スポーツ推進委員会主催事業への参加者数	人	299	92	71	350	×下降	新型コロナウイルス感染症の影響により一部の開催にとどまったため。
市民総合体育大会参加者数	人	2,364	0	0	2,500	×下降	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため。
市民ニュースポーツフェスタ参加者数	人	328	0	0	350	×下降	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため。
藤井寺市民マラソン大会参加申込数	人	993	0	0	1,000	×下降	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため。

基本方針 3 思いやりとふれあいのあるまちづくり

施策 No		施策名					
3-1		人権・国際理解の推進					
令和 3 年度までの施策の進捗状況							
人権理解の推進については、適宜研修や講演会、パネル展などを行いながら、教育や啓発を計画通り進めている。また、相談窓口等による支援体制を整えている。しかし、人権を取り巻く環境は日々複雑化、多様化しており、更なる職員の育成や啓発活動が必要であるとともに、あらゆる世代に向けて教育や普及啓発を図るための効果的な手法についても研究を行う必要がある。							
国際理解・多文化共生の推進は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の中止や縮小が続いている。外国人住民に対する行政情報の発信等、各種支援については引き続き計画通り実施していく。							
主要施策				評価			
				A	B	C	D
1	人権教育の推進				●		
2	人権啓発の推進				●		
3	国際理解・多文化共生の推進				●		
4	相談支援体制の充実				●		
まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
人権に関する講演会や研修会の参加者数	人	230	100	—	300	—	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、講演会ではなくパネル展を実施したため集計不可

施策 No		施策名			
3-2		男女共同参画の推進			
令和 3 年度までの施策の進捗状況					
企業も含めた男女共同参画やワーク・ライフ・バランスの普及啓発のため、従来の手法にとらわれることなく、情報提供や資料の配付を行っており、市役所では、特定事業主行動計画の実施状況をホームページで公表するとともに、市職員への各種啓発活動を行っている。一方で、企業の取組支援が十分に取組めていないため、市内企業の実態の把握を行うとともに、更なる啓発普及の取り組みを進めることで、計画を進めていく。					
主要施策		評価			
		A	B	C	D
1	男女共同参画の意識づくりの推進		●		
2	男女共同参画の環境づくりの推進		●		

まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
審議会等への女性委員参画率	%	26.0	24.8	27.5	35.0	△横ばい	全庁に対して女性登用について取組依頼をしたが、理解の浸透には至らなかった。
ワーク・ライフ・バランスに関する講演会、講座等の実施回数	回	2	1	0	5	×下降	新型コロナウイルス感染症をめぐる社会情勢により、講演会、講座等を制限したため指標は下降したが、ホームページでの啓発は行った。

施策 No		施策名					
3-3		地域コミュニティ活動の推進					
令和 3 年度までの施策の進捗状況							
自治会活動の推進のための各種助成金や勉強会の開催、情報発信、自治会加入のメリットをまとめた冊子をはじめとした加入促進ツールの作成を行い、地域自治活動への支援を実施している。また、市民公益活動団体の情報発信も行い、地域コミュニティ活動の推進を図った。しかし、自治会会員の高齢化等、様々な要因によりまちづくり指標にも設定している自治会加入率の減少が進んでいる。							
主要施策		評価					
		A	B	C	D		
1	地域自治活動への支援		●				
2	地域コミュニティ活動への参加促進	●					
まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
自治会加入率	%	65.6	65.9	63.5	72.0	×下降	加入率向上の取組みを進めているものの、自治会会員の高齢化による脱退やマンションの未加入問題などにより、加入率は減少が進んでしまっている。

基本方針 4 にぎわいと新たな活力を生むまちづくり

施策 No		施策名					
4-1		商工業の振興					
令和 3 年度までの施策の進捗状況							
コロナ禍であったこともあり、まちづくり指標にある既存補助制度の活用は伸びていないものの、商店街や事業者に対し、コロナ禍に対応した様々な事業者支援事業を実施している。そのほか、令和 3 年度に市内商工業者に対するアンケート調査の実施や事業者勉強会との協働により現状課題の把握や検討を行っており、今後は調査結果を基に、中小企業振興に関する計画策定、商工業振興の機運を高めるとともに、情勢に応じた事業者支援補助制度の充実を図る取組を進めていく。							
主要施策				評価			
				A	B	C	D
1	商店街活動の充実			●			
2	中小企業への支援			●			
3	事業承継支援の推進			●			
まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
商店街活性化補助制度の年間利用件数	件	2	5	1	3	△横ばい	コロナ禍により事業環境が厳しく商店街活動への取り組みがなかった。
創業支援事業補助制度の年間利用件数	件	4	0	0	5	△横ばい	予算の確保ができなかった為スクールのみの開催となった。
販路開拓支援制度の年間利用件数	件	3	1	4	5	○計画通り	市広報に加えてHPやSNSを通じた制度の周知等により件数をあげることができた。
先端設備等導入計画の累計認定件数	件	4	10	13	10	○計画通り	市広報に加えてHPやSNSを通じた制度の周知等により件数をあげることができた。

施策 No		施策名						
4-2		都市型農業の振興						
令和 3 年度までの施策の進捗状況								
農業生産基盤の整備においては、おおむね計画通りの取組は進めているものの、新規就農者の確保はできていない。								
都市型農園の推進に向けては、貸農園を民間事業者と地権者との連携による新たな開設や、農作物の開発やブランド構築に向けた取り組みを進め、地場産業の地産地消の推進を図ることができているものの、六次産業化の推進には大きくつなげられていない。								
主要施策					評価			
					A	B	C	D
1	農業生産基盤の整備					●		
2	都市型農業の推進					●		
まちづくり指標								
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因	
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度			
朝市・トラック市の開催回数	回	7	6	4	7	×下降	新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、開催することはできたが、目標値に近づけることができなかった。	

施策 No		施策名			
4-3		観光の振興			
令和 3 年度までの施策の進捗状況					
観光協会と連携した商品の開発の促進や、観光の拠点化を進めているアイセルシユホールにて、認知力を向上させるためのフォトスポットを制作する等、観光コンテンツを計画通り制作し、SNS などを活用した情報発信も行っている。そのほか、ターゲットに応じた情報発信やコロナ禍に対応したマイクロツーリズムを推進した。また、民間事業者と連携し音声ガイドアプリに謎解きとデジタル商品券を組み合わせたサービスを実証実験として実施するなど、観光振興に向け、おおむね計画通り進めることができおり、まちづくり指標も令和 5 年度の目標値を上回っており順調に推移している。					
主要施策		評価			
		A	B	C	D
1	魅力ある観光コンテンツづくりの推進	●			
2	来訪者の利便性の向上		●		

まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
観光案内所 来館者数	人	10,680	7,390	18,431	14,400	○計画 通り	Instagramや音声ガイドアプリを活用した観光キャンペーンの他、「買って応援ふじいでら商品券」の交換場所となったため。
観光ウェブサイトのアクセス件数	件	57,296	62,805	—	84,000	—	サイトリニューアルに伴うグーグルアナリティクスの不具合により、算出不可。
市プロモーションサイトのアクセス件数	件	4,103	4,249 (見込値)	12,414	7,200	○計画 通り	観光難易度 A 級シティのサイトリニューアルや各キャンペーンの告知等、情報の充実を図ったため。
「#フジデ ライク」への 総投稿数	件	3,395	10,168	12,118	11,000	○計画 通り	フジデライクを活用した観光キャンペーンや市の景観賞募集に活用する等、情報の充実を図ったため。

施策 No		施策名					
4-4		世界文化遺産関連施策の推進					
令和 3 年度までの施策の進捗状況							
来訪者に市内を周遊していただくため、案内板や Wi-Fi 整備を引き続き実施するとともに、もずふるレンタサイクルの継続実施をはじめ、百舌鳥・古市古墳群をつなぐカーシェアリングの検討まで進めることができた。バス駐車場や乗降場の整備については、住宅密集地となっている市域では、まとまった場所が確保できない点が課題となっている。 また、アイセルシュラホールを活用した観光拠点化やガイド機能の整備検討のほか、様々な団体や媒体によるプロモーションや TikTok の人気クリエイターによるプロモーション動画の配信等も実施するなど、おおむね計画通り進めている。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントに制限があり、百舌鳥・古市古墳群を活用した交流・にぎわい創出の取組ができておらず、まちづくり指標も目標を達成できていない。							
主要施策		評価					
		A	B	C	D		
1	来訪者に対する適切な案内・誘導のための環境整備		●				
2	百舌鳥・古市古墳群の情報発信		●				
3	百舌鳥・古市古墳群を活かした交流・にぎわいの創出	●					
まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
ガイドンス施設「まほらしるやま」への来訪者数	人	16,425	19,379	11,254	20,000	×下降	コロナ禍で来訪者が減少し、ガイドンス施設の休館もあったため。

施策 No		施策名					
4-5		にぎわい・交流拠点づくりの推進					
令和 3 年度までの施策の進捗状況							
景観整備の推進をはじめ、道明寺駅周辺の再整備に向けて地元住民による協議会を設置し、将来のまちのコンセプト、整備方針、整備事業案などを取りまとめた基本構想を作成するなど、計画通り進めることができている。 市民とのにぎわいづくりにおいては、新型コロナウイルス感染症による影響があり、まちづくり指標は計画通り進んでいないものの、地元まちづくり団体や大型商業施設等との連携により、各種イベントを開催することができており、さらに、新たな市民まつりの開催に向けて、新まつりイベント準備委員会を開催するなど、にぎわい創出に寄与することができている。そのほか、都市計画道路八尾富田林線の完成に向けて、地権者による協議会と事業化検討パートナー企業とともに、道路の供用開始に向けたまちづくりの検討を進めているなど、全体を通して、市民協働によるまちづくりがおおむね計画通り進めることができている。							
主要施策		評価					
		A	B	C	D		
1	駅周辺の拠点機能強化			●			
2	にぎわい・交流創出事業の推進		●				
3	市街化調整区域のあり方検討		●				
まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
市街化調整区域内の土地所有者が土地利用方針の話し合いに参加したい割合	%	80	—	—	90	—	令和 5 年度に参加意向の調査を実施するため。
市内駅乗降客数（3 駅合計）	人	49,729	—	43,549	増加	×下降	コロナ禍による外出機会の減少や人口減少等が要因の一つとして考えられる

基本方針 5 歴史文化と調和し、多様な交流を広げるまちづくり

施策 No		施策名								
5-1		歴史文化の保全・継承								
令和 3 年度までの施策の進捗状況										
市内の史跡指定地の公有化と史跡追加指定については、おおむね計画通り実施できており、まちづくり指標も前倒しで達成できている。また、史跡古市古墳群の保存活用についても、羽曳野市と共同で、国史跡古市古墳群保存活用計画を令和 3 年度と令和 4 年度の 2 か年で策定することとなり、計画通り史跡の保全・活用を進めることができる。 来訪者の受け入れについては、案内板や説明版、無料 Wi-Fi スポット設置、積極的な情報発信などおおむね取組ができているところであるが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、講座や見学会などの事業を縮小せざるを得ない状況となっている。										
主要施策		評価								
		A	B	C	D					
1	文化財情報の発信							●		
2	文化財及び埋蔵文化財の適切な保全・継承						●			
3	史跡等の整備の推進						●			
4	来訪者受け入れ態勢の充実							●		
まちづくり指標										
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因			
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度					
史跡の指定面積	m ²	143,467.28	143,924.13	144,328.20	143,791.61	◎目標値達成	地権者への丁寧なアプローチにより、貴重な歴史資産の保全について、理解と協力を得ることができたため。			

施策 No	施策名
5-2	都市景観の保全・形成
令和 3 年度までの施策の進捗状況	
景観の認定・届出制度を活用した規制誘導を引き続き行うとともに、景観舗装を行った葛井寺南大門前地区において、歴史的なまちなみを保全・再生するため、修景補助制度の補助内容の拡充を図るなど、藤井寺市らしい都市景観を形成するための取組を実施している。また、良好な景観形成の推進に向け、景観アドバイザー制度を活用した指導及び助言を行っており、まちづくり指標においても計画通り進めることができている。 しかし、景観形成は民間主体で 50 年程度を要するものであり、まだまだ道半ばとなっている。また、修景補助制度については、活用実績がないため、利用促進を図る必要がある。	

主要施策						評価			
						A	B	C	D
1	藤井寺市らしい景観の形成						●		
2	都市景観の形成のための規制、誘導						●		
まちづくり指標									
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因		
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度				
良好な景観形成を推進するために必要な事業者との景観アドバイザー会議実施率	%	100	100	100	100	○計画通り	令和 3 年度は 6 回実施することができた。		

施策 No		施策名					
5-3		道路整備の推進					
令和 3 年度までの施策の進捗状況							
広域幹線道路の整備促進のほか、生活道路や橋梁の整備・修繕、観光ルート上の効果の高い道路における修景整備等、おおむね計画通り進めており、安全・安心な道づくりに寄与することができている。また、まちづくり指標も前倒しで達成することができた。しかし、予定していた都市計画道路の整備については、事業の優先順位を検討し、延期することとなった。							
主要施策		評価					
		A	B	C	D		
1	広域幹線道路の整備	●					
2	都市計画道路の整備		●				
3	生活道路の整備	●					
4	計画的な維持管理・保全、修繕	●					
5	観光ルートを見据えた道路整備	●					
まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
橋梁長寿命化修繕の累計実施数	橋	8	14 (見込値)	17	17	◎目標値達成	令和 2 年度に前倒しすることができたため、早期目標達成となった。

施策 No		施策名						
5-4		公共交通の充実						
令和 3 年度までの施策の進捗状況								
公共交通の検討のため、令和 3 年度にアンケート調査や庁内会議により、方向性の検討を計画通りに実施できた。 また、公共交通の利用促進に向け、交通事業者との連携も図っている。								
主要施策					評価			
					A	B	C	D
1	公共交通の利便性の向上					●		
2	民間事業者と連携した公共交通の利用促進				●			
まちづくり指標								
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因	
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度			
公共施設循環バスの利用者数	人	31,611	11,903	14,119	32,000	×下降	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一定期間緊急事態宣言が発令され松水苑をはじめ各施設が休館となった影響等により、バスの利用者数は令和 2 年度の利用者数と同じく目標値より減少の結果となった。	

基本方針 6 快適で良好な生活空間のあるまちづくり

施策 No		施策名						
6-1		上水道事業の推進						
令和 3 年度までの施策の進捗状況								
水道事業は、令和 3 年度に大阪広域水道企業団に継承され、広域での取組へ移行した。								
主要施策					評価			
					A	B	C	D
1	上水道施設の充実							●
2	効率的な水道事業経営							●
まちづくり指標								
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因	
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度			
道明寺浄水場施設更新率	%	76	100 (見込値)	—	令和 2 年度 100	◎目標 値達成	計画通りに進捗した。	
船橋浄水場施設更新率	%	0	0	—	15	—		
耐震適合性を有する管の全体に占める割合	%	35	36.5 (見込値)	—	45	—		
鉛製給水管の残存箇所数	箇所	9	6 (見込値)	—	0	—		

施策 No		施策名			
6-2		下水道事業の推進			
令和 3 年度までの施策の進捗状況					
雨水幹線の整備や雨水ポンプ場の修繕・改築、「藤井寺市公共下水道事業業務継続計画（藤井寺市公共下水道 BCP ）」の更新・継続的実施のほか、水洗化の普及促進においてもおおむね計画通り進捗しており、まちづくり指標の水洗化普及率は前倒しで達成している。また、下水道事業においても令和 2 年度に下水道料金を改定するなど適正な運営に努めている。一方で、公共下水道整備の進捗が伸び悩んでおり、まちづくり指標においても横ばいで推移している。					
主要施策		評価			
		A	B	C	D
1	公共下水道の整備及び水洗化の普及促進		●		
2	雨水・浸水対策の促進・充実	●			
3	適正で効率的な公共下水道事業の運営	●			

まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
下水道整備 済人口普及 率（人口普 及率）	%	80.6	82.8	83.5	88.0	△横ば い	現場条件が悪く、設計協議 で移設工事に時間がかかって いる。
供用開始区 域水洗化人 口普及率 （水洗化 率）	%	89.8	90.3	90.3	90.0	◎目標 値達成	-

施策 No		施策名					
6-3		住環境整備の推進					
令和 3 年度までの施策の進捗状況							
建築物等の安全対策のため、耐震化の相談会や各種普及啓発活動、新たに空き家リフォーム補助制度を実施するなど、計画通り実施できている。また、空き家対策の取組も進めているが、利活用を促進していく必要がある。 住民ニーズに対応した住宅政策については、住宅セーフティネット制度による登録住宅制度の普及啓発を行うに留まっているため、民間と連携した住宅政策や市民主体のまちづくり支援など、住民のニーズや時代に応じた住宅政策に取り組む必要がある。							
主要施策				評価			
				A	B	C	D
1	空家対策の強化・充実				●		
2	建築物等の安全対策の推進			●			
3	住民ニーズに対応した住宅政策の推進				●		
まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
住宅の耐震化率	%	87.8	—	—	93	—	令和 5 年住宅土地統計調査の結果より算出予定

施策 No		施策名							
6-4		緑とうるおいのある環境の創出							
令和 3 年度までの施策の進捗状況									
地域の子もたちが安心して遊べるよう、順次、老朽化した公園の遊具の整備やふじみ緑地への大型複合遊具の新設をすることができたが、まちづくり指標でも確認できるが遊具の整備に遅れが生じている。また、当初計画ではトイレ整備も進めることとしていたが、衛生面での管理が困難なことや犯罪の温床化防止、コンビニトイレの公共化等の理由により、公園のトイレのあり方から検討を行っており、整備改修が実施できていない。 そのほか、緑化啓発の取組や、大水川散策公園や城山古墳花菖蒲園などを活かしたうるおいを感じられる環境の創出等、おおむね計画通り進めることができた。しかしながら、まちづくり指標にあるように緑化団体の会員数が減少傾向にある。									
主要施策						評価			
						A	B	C	D
1	市域の特性を活かした公園づくり						●		
2	「緑」の保全・育成					●			
3	「うるおい」の創出					●			
まちづくり指標									
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因		
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度				
緑化団体会員人数	人	164	134	128	180	×下降	会員の高齢化やコロナ禍でのイベント中止が相次ぎ、新規会員募集ができていないため。		
大型遊具の整備改修の累計件数	件	0	0	1	4	○計画通り	ふじみ緑地に複合遊具を設置した。		
トイレの整備改修の累計件数	件	0	0	0	3	△横ばい	衛生面での管理が困難なことや犯罪の温床化防止、コンビニトイレの公共化、バリアフリー化等の改修条件が厳格かつ高額なため、公園のトイレのあり方から検討を行っているため。		

基本方針 7 すべての市民が輝き、健やかで、皆で支え合うまちづくり

施策 No		施策名							
7-1		地域福祉の推進							
令和 3 年度までの施策の進捗状況									
ホームページ等を活用しながら地域福祉に関する周知・啓発や活動場所の提供に取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症の影響によりボランティア活動ができず、まちづくり指標のボランティアセンターへの登録者数も減少している。また、コミュニティソーシャルワーカーを各中学校区へ配置するよう目指しているが、実施には至っていない。地域福祉の推進には厳しい状況が続いているが、今後も地域の方々との協働の活動が求められる。									
生活困窮者向けの各種支援策はおおむね計画通り進めており、セーフティネットの推進に寄与することができている。									
主要施策						評価			
						A	B	C	D
1	地域福祉意識の醸成					●			
2	地域福祉活動への支援						●		
3	地域福祉のセーフティネットの推進					●			
まちづくり指標									
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因		
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度				
藤井寺市立福祉会館の年間稼働率	%	30.3	17.9	13.6	45.0	×下降	新型コロナウイルスの影響で、福祉会館が閉館することが多かったため。		
ボランティアセンターの個人ボランティア登録者数（各年度 3 月末日時点）	人	56	83	39	92	×下降	市ホームページでボランティアセンターの普及・啓発を行っているが、新型コロナウイルスの影響で活動が出来ていないこともあり、登録者に更新の意思を確認したところ、登録者数が減少した。		
コミュニティソーシャルワーカーの配置人数	人	2	2	2	3	△横ばい	財政的要因により、委託料の増額が難しいため。		
生活困窮者自立支援窓口につながる相談者数	人	70	516	380	80	◎目標値達成	新型コロナウイルスの影響で相談者数が増加した。		

施策 No		施策名						
7-2		障害者福祉の推進						
令和 3 年度までの施策の進捗状況								
障害のあるすべての人が安心して暮らすことができるよう、広報・啓発活動や生活支援の充実のための体制整備、就労支援の取組等、おおむね計画通り実施することができている。また、手話講座や相談支援部会などについて、新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで対応できる体制の構築に取り組んでいる。しかし、手話講座については、受講者数が横ばいであり、今後の事業の在り方の検証が必要である。計画相談支援については、支援員の増加に向けた取り組みが必要である。								
主要施策					評価			
					A	B	C	D
1	広報・啓発活動の推進					●		
2	地域における生活支援の充実					●		
3	社会参加と就労への支援					●		
4	福祉のまちづくりの推進					●		
まちづくり指標								
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因	
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度			
差別解消法にかかる啓発活動の実施の有無	-	未実施	実施	実施	実施	○計画通り	平成 28 年度より継続してワークショップ等の啓発活動に取り組んでいる。	
手話講座受講者数	人	24	12	18	80	△横ばい	コロナ禍による利用者減が続いているが、オンライン形式を導入したことで回復傾向。	
計画相談支援の利用人数	人/月	106	123	113	220	△横ばい	近隣事業所の相談支援員数が横ばい傾向にあり、支援員 1 人当たりの利用者数に概ねの上限があるため、利用者数が伸び悩んでいる。	

施策 No	施策名
7-3	高齢者福祉の推進
令和 3 年度までの施策の進捗状況	
高齢者が社会活動に参加し、また地域で元気に暮らせるような支援体制整備に向け、介護予防の取組推進や生活支援体制の充実、相談体制や各種情報や制度の周知等、おおむね計画通り実施することができている。また、コロナ禍に対応するため、書面や電話での支援も行っている。しかし、高齢者支援については、対面による支援が多くを占めていることから、まちづくり指標が横ばいで推移している。そのため、自宅でも取り組むことができる健康維持のためのプログラムを提示する必要がある。	

主要施策		評価					
		A	B	C	D		
1	地域包括ケアシステムの強化			●			
2	高齢者の心身機能の維持向上の推進			●			
3	生活支援体制の充実			●			
4	介護保険サービス、多様な支援の充実		●				
5	生きがいづくりと社会参加の推進			●			
まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
「ええとこふじいでら♪体操」に継続的に取り組む住民グループ数	グループ	15	1	2	45	△横ばい	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地区のイベントが開催中止になっているため。
認知症サポーター数	人	5,116	5,677	5,797	6,600	△横ばい	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により講座の開催に支障をきたしたため。
老人クラブ員数	人	3,105	3,034	2,903	3,200	×下降	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により新規会員の勧誘に支障をきたしたため。

施策 No		施策名			
7-4		社会保障の充実			
令和 3 年度までの施策の進捗状況					
国民健康保険事業、後期高齢者医療制度、国民年金等の社会保障制度について、おおむね計画通りの取組ができています。また、福祉医療費助成制度は、子ども医療費助成を令和 3 年度より対象年齢を 18 歳到達年度末まで拡大し、制度を充実することができた。特定健康診査・特定保健指導などの保健事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により訪問による受診勧奨等、例年通りの積極的な勧奨ができていないが、一方で産官学連携による魅力的な保健事業の実施に向けた検討を進めている。					
主要施策		評価			
		A	B	C	D
1	国民健康保険事業の安定的な運営	●			
2	後期高齢者医療制度の適正な運営・保健事業の実施		●		
3	保健事業の推進		●		
4	国民年金事務の充実	●			
5	福祉医療費助成制度の充実	●			

まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
特定健康診査実施率	%	(H30 暫定) 47.6	47.8	—	60	—	実績は、令和 4 年 11 月頃確定（法定報告）
特定保健指導実施率	%	(H30 暫定) 42.6	35.6	—	60	—	実績は、令和 4 年 11 月頃確定（法定報告）

施策 No		施策名							
7-5		地域医療の充実							
令和 3 年度までの施策の進捗状況									
計画通り救急医療体制の確保に努めており、南河内北部広域小児急病診療所を開設することができている。 一方で、市立藤井寺市民病院は、発熱外来の実施や新型コロナワクチン接種、病床の確保等、新型コロナウイルス感染症患者の受入に重点をおいた運営を行っており、地域医療体制の充実強化に取り組めておらず、まちづくり指標も大部分が下降する結果になっている。									
主要施策						評価			
						A	B	C	D
1	地域医療体制の充実						●		
2	救急医療体制の充実					●			
まちづくり指標									
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因		
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度				
市民病院病床利用率	%	80.9	53.2	45.6	85.6	×下降	一般病床数を減らして新型コロナウイルス感染症患者を受入れたため。		
市民病院患者紹介率	%	32.3	35.4	30.5	33.3	×下降	紹介率は初診における紹介患者の比率であるが、分母の初診患者が発熱外来により増加し、率が減少した。		
市民病院 1 日平均外来患者数	人	184	150	148.7	200	×下降	新型コロナウイルス感染症患者の受入・コロナウイルスワクチン接種等により午後の診療を制限したため		
市民病院経常損益	千円	-78,174	11,736	70,027	4	◎目標値達成	新型コロナウイルス感染症患者の受入による補助金の増加		
市民病院医業収支比率	%	96.1	86.3	83.9	100.0	×下降	新型コロナウイルス感染症患者の受入により、一般患者の受入が制限され診療収入（医業収益）が減少し、代りに補助金（医業外収益）が増加したことで経常損益は黒字だが医業収支比率については減少となった。		

施策 No		施策名			
7-6		健康づくりの推進			
令和 3 年度までの施策の進捗状況					
健康づくりに関する講座の開催や藤井寺健康チャレンジ事業の実施による市民の自主的な健康づくりのための事業を実施している。また、がん検診の受診率の向上を図るため、受診勧奨や無料クーポンの配布、市外の検診先の新規設定などに取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染症により、健康づくりの事業を縮小せざるを得ない状況であり、さらにがん検診の受診率にも影響が出ている。そのほか、体力テスト及びトレーニング講習会についても体育館がワクチン接種会場設営なったことにより実施ができなかった。					
母子保健の充実としては、令和 3 年度より子ども医療費助成の対象を 18 歳到達年度末まで拡大したことや、産後ケア事業において対応できる病院を増やすなど、適宜制度の充実を図ることができている。また、子育て世代包括支援センターの設置による相談体制の充実に取り組んでいるが、新型コロナウイルスの影響により一部の事業が実施できていない。					
主要施策		評価			
		A	B	C	D
1	がん検診事業の推進		●		
2	主体的な健康づくり活動への支援		●		
3	母子保健の充実		●		

まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
4 か月児健康診査受診率	%	99.3	96	98	維持	○計画通り	コロナ禍ではあるが、集団健診において感染予防対策を行ったため、受診率は減少することなく実施できた。
1 歳 6 か月児健康診査受診率	%	95.1	96.9	97.3	97	○計画通り	
2 歳 6 か月児歯科健康診査受診率	%	92.3	86.7	89.7	維持	○計画通り	
3 歳 6 か月児健康診査受診率	%	96.3	97.7	96.6	維持	○計画通り	
胃がん検診受診率	%	20.0	—	—	30.0	—	平成 30 年度にがん検診に関するアンケートを実施し、その後、同一指標による評価が表れるのは、次回の計画策定後（令和 5 年度）となる見込み。
大腸がん検診受診率	%	20.3	—	—	30.0	—	
肺がん検診受診率	%	16.8	—	—	30.0	—	
乳がん検診受診率	%	21.9	—	—	30.0	—	
子宮がん検診受診率	%	24.2	—	—	30.0	—	
ふじいでら健康チャレンジ参加賞応募人数	人	357	298	359	460	△横ばい	新型コロナウイルス感染症の影響により、積極的勧奨を控えたため。

基本方針 8 災害に強く、安心して暮らせるまちづくり

施策 No		施策名					
8-1		自然災害対策の推進					
令和 3 年度までの施策の進捗状況							
災害時の物資援助や避難所確保のため、民間企業との防災協定の計画的な締結を実施している。また、災害時に発生した問題に対応できるよう適宜マニュアルの見直しを実施しており、令和 3 年度には「ペット同行避難マニュアル」を策定するなど、総合的な防災体制の充実・強化に向けて、おおむね計画通り進めることができている。そのほか、自主防災組織機能の向上のため、市内 3 地区において地区防災計画の策定に向けたモデル事業の取組を進めているが、新型コロナウイルスの影響により、地域の住民を集めた取組が思うように実施できず、まちづくり指標である自主防災組織数を増やすことができていない。							
主要施策				評価			
				A	B	C	D
1	多様な主体が実施する防災活動の支援・推進				●		
2	総合的な防災体制の充実・強化			●			
3	関係機関との連携・体制強化の推進			●			
まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
自主防災組織結成数	地区	30	30	30	37	△横ばい	新型コロナウイルス感染症の影響により、増加は図れなかったが、モデル地区での取組など、新たな取組を実施した。

施策 No	施策名
8-2	消防・防災体制の充実
令和 3 年度までの施策の進捗状況	
消防体制の充実に向けて、各種訓練の実施や資器材の更新を計画的に整備できている。そのほか、消防の広域化に向けた協議を進めるため、8 市町村及び柏原羽曳野藤井寺消防組合からなる消防広域化協議会を設立した。また、資器材の配備、隊員の訓練や講習会などによる資質向上など救急救助の充実は、計画通り進めている。このような対応により、まちづくり指標も計画通り推移することができている。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、三市合同防災フェアなどの地域住民参加型による防火対策の促進事業ができていない。また、感染防止のための資器材の充実や対応強化を図っていかなければならなくなっており、総合計画策定当初にはなかった対応が出ている。	

主要施策						評価			
						A	B	C	D
1	消防体制の充実						●		
2	救急救助体制の充実						●		
まちづくり指標									
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因		
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度				
救急出場件数	件	3,778	3,337	3,530	減少	○計画通り	新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な救急需要の減少があった。		
火災発生件数	件	14	23	12	減少	○計画通り	予防広報及び予防査察による啓発活動の推進による効果。		

施策 No		施策名								
8-3		危機管理の推進								
令和 3 年度までの施策の進捗状況										
国土強靱化地域計画の策定をはじめ、各種計画の見直しを順次実施することができている。また、情報伝達の充実も計画通り取り組んでいる。そのほか、出水期に備えた「土のう作製訓練」の実施など、災害時に迅速な対応ができるよう、事前対策の強化に努めており、危機管理体制確立のための取組をおおむね進めているが、避難所開設訓練など新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった訓練もあった。また、各種計画の見直しを実施しているが、まちづくり指標である新たな危機管理マニュアル策定までは進められていない。										
主要施策		評価								
		A	B	C	D					
1	危機管理体制の充実・強化							●		
2	情報伝達の充実・強化						●			
まちづくり指標										
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因			
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度					
危機管理マニュアル策定数	件	33	33	33	39	△横ばい	危機管理対応指針に基づく危機管理マニュアルの策定に係る取組は実施できていない。しかし、指標の現況値に変更はないが、地域防災計画の見直しに伴い、当該計画を踏まえたマニュアル策定の取組を進めている。			

施策 No		施策名					
8-4		防犯対策の推進					
令和 3 年度までの施策の進捗状況							
市民協働による地域防犯体制の充実のため、防犯に関する啓発や防犯活動をおおむね計画通りに行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できない事業もあった。また、防犯カメラの増設・更新・修繕をはじめとした防犯環境の整備も行っており、まちづくり指標は前倒しで達成することができているが、カメラの設置台数増加による老朽化対策が喫緊の課題となっている。							
主要施策		評価					
		A	B	C	D		
1	防犯意識の啓発	●					
2	地域防犯活動の充実		●				
3	防犯環境の整備		●				
まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
防犯カメラ 設置台数累計	台	412	420	434	428	◎目標 値達成	防犯活動に関する関心が高まり、地区より新設に関する要望があり、設置を推進した結果。

施策 No		施策名					
8-5		交通安全対策の推進					
令和 3 年度までの施策の進捗状況							
市民が安心して過ごすことができるよう、歩道のバリアフリー化や交通安全施設整備、放置自転車の対応などにより道路環境整備の取組は計画通り実施することができている。しかし、交通安全啓発においては、新型コロナウイルス感染症を踏まえつつ実施はしているが、活動の一部を自粛せざるを得ない状況となっている。							
主要施策		評価					
		A	B	C	D		
1	交通安全に関する啓発活動の推進		●				
2	バリアフリー対策等の充実	●					
3	安全に通行できる交通環境の整備	●					
まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
交通事故発生件数	件	244	184	153	減少	○計画通り	交通安全の啓発活動や市 HP 等による PR 等が要因の一つと考える。

施策 No		施策名					
8-6		消費者保護の推進					
令和 3 年度までの施策の進捗状況							
消費者保護の推進のため、相談体制の充実、啓発関係等、各種取組をおおむね計画通り実施できている。また、成人年齢が 18 歳に引き下げられることに対応した消費者教育も実施した。まちづくり指標は、令和 2 年度実績から減少したものの、令和 5 年度の目標値達成に向けて計画通り進捗している。							
主要施策				評価			
				A	B	C	D
1	消費者保護の推進			●			
2	消費者意識の高揚				●		
3	消費者教育の推進			●			
まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
消費生活相談件数	件	497	610	547	600	○計画通り	消費者生活に関する啓発に一定の効果が表れている。

基本方針 9 人に、未来にやさしい、環境に配慮したまちづくり

施策 No		施策名					
9-1		自然環境の保全					
令和 3 年度までの施策の進捗状況							
各種啓発やイベント、環境教育等、おおむね計画通り実施できており、環境保全意識の醸成に寄与できている。また市においても温室効果ガス排出量削減に向けた体制作りを行っているほか、省エネルギー改修にかかる経費を改修後の光熱費の削減分で賄う ESCO 事業の導入による省エネルギー化を実現している。一方で、工場や事業所に対する環境保全意識の高揚や環境監視体制の取組ができておらず、未着手の状況となっている。							
主要施策				評価			
				A	B	C	D
1	環境保護・保全活動の推進			●			
2	環境負荷の低減			●			
3	環境教育・環境学習の推進			●			
4	工場・事業所における環境対策の充実					●	
まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
本市の事務事業における温室効果ガス排出量	t	5,591	6,133	3,035	5,085	○計画通り	令和 3 年度、水道局が水道企業団に統合されたことにより、全体の温室効果ガス排出量の約 30%を占めていた水道局所管施設からの排出量を集計から除外したため、大幅に減少している。また、令和 2 年度に ESCO 事業を実施した施設においては、温室効果ガス排出量が前年度の約 70～80%程度に抑えられている。

施策 No	施策名
9-2	環境美化の推進
令和 3 年度までの施策の進捗状況	
環境美化の推進や環境衛生の充実に向け、各種啓発や関係機関と連携した取組により、おおむね計画通りの取組ができているが、まちづくり指標については横ばいに推移している状況である。また、公害防止のための啓発も進めているところであるが、学校教育や社会教育による公害防止意識の高揚に関する取組が実施できていない。	

主要施策						評価			
						A	B	C	D
1	環境美化の推進					●			
2	環境衛生の充実					●			
3	公害防止対策の充実						●		
まちづくり指標									
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因		
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度				
不法投棄件数	件	27	45	44	10	△横ばい	リサイクル家電(エアコン・テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・衣類乾燥機)や、廃タイヤ、ペンキ、断熱材、マットレスなどが多いので、朝の通常収集で排出出来ないものを適正に処理するのが面倒なことや、排出するのに費用が掛かるものを無料で済ませたい人が多い事等が要因であると考えられる。		

施策 No		施策名					
9-3		循環型社会の形成					
令和 3 年度までの施策の進捗状況							
ごみの減量化・資源化に関する各種啓発や廃棄物の分別回収や回収方法の調整を行っている。まちづくり指標については、令和 3 年度実績は令和 4 年中に算出予定であるが、市民一人一日当たりのごみ排出量やリサイクル率が改善傾向にあり、微量ではあるが廃棄物の発生抑制と再資源化に寄与できている。							
主要施策		評価					
		A	B	C	D		
1	ごみの減量化・資源化の推進	●					
2	ごみの適正処理の推進		●				
まちづくり指標							
指標名	単位	現況値	実績値	実績値	目標値	進捗状況	進捗状況等に関する要因
		平成 30 年度 or 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 5 年度		
市民一人一日当たりのごみ排出量	g	1,078	1,049	—	970	—	令和 4 年度中に算出予定
リサイクル率	%	8.8	9.8	—	10.5	—	令和 4 年度中に算出予定

まちづくりの推進に向けて

施策 No		施策名			
1		市民参画と協働の推進			
令和 3 年度までの施策の進捗状況					
市民参画を促すための取組や市民公益活動団体への支援、市民や市職員に対する意識の醸成の実施等、協働のまちづくりに向けて、おおむね計画通り取組を進めることができている。					
主要施策		評価			
		A	B	C	D
1	市民参画の推進	●			
2	市民公益活動の促進	●			
3	多様な主体をつなぐ仕組みの整備	●			
4	協働意識の醸成	●			

施策 No		施策名			
2		行政運営の推進			
令和 3 年度までの施策の進捗状況					
市民ニーズや社会潮流を踏まえた効率的な行政運営に向けて、適宜組織機構の見直しを行っているほか、市役所手続きや業務のデジタル化を大きく進めることができた。職員の資質向上に関しては、研修や各種啓発を実施しているが、一部で新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小している。また、ワーク・ライフ・バランスの啓発を行っているが、休暇等の利用者増加にはつながりにくく、今後さらなる意識啓発などを行う必要がある。					
主要施策		評価			
		A	B	C	D
1	職員の能力開発と人材育成の推進		●		
2	組織機構の見直し		●		
3	電子自治体の推進	●			

施策 No		施策名			
3		財政運営の推進			
令和 3 年度までの施策の進捗状況					
「藤井寺市行財政改革アクションプラン 2020」を策定し、プランに基づき、集中改革項目を中心とした行財政改革の取組を実施しているが、計画通り進んでいない項目もあり、引き続きプランの取組を進めていく必要がある。また、財源確保に向けては、ふるさと納税をはじめとした各種寄附制度の活用、新たな交付金の獲得等に取り組むことができているが、シティプロモーションの効果を関係人口や移住人口の増加による税収確保にまでつなげることができていない。公有財産の維持管理については、計画通り進めている。					
主要施策		評価			
		A	B	C	D
1	行財政改革の推進		●		
2	財源の確保		●		
3	公有財産の適正管理及び有効活用	●			

施策 No		施策名			
4		広域行政の推進			
令和 3 年度までの施策の進捗状況					
効率的な行財政運営や市民サービス向上のため、近隣自治体と広域連携の取組について、議論する場を設けてはいるが、具体的な連携には至っていない。近隣自治体とは市民も含めた交流事業は実施できているものの、友好提携都市等との交流は、取組が滞っている状況である。					
主要施策		評価			
		A	B	C	D
1	広域連携の推進		●		
2	都市間連携の推進		●		

施策 No		施策名			
5		広報活動の推進			
令和 3 年度までの施策の進捗状況					
LINE 公式アカウントのリニューアルや地域交流アプリの導入検討など、様々な媒体を活用した情報発信に着手できている。また、市職員全員が広報活動に取り組めるよう、各課にシティセールスリーダーを設置し、情報発信研修やパブリシティ活動の活性化などに取り組んでおり、全体を通しておおむね計画通りに事業を進めている。					
主要施策		評価			
		A	B	C	D
1	広報活動の充実	●			
2	職員の広報力の向上	●			

施策 No		施策名			
6		シティプロモーションの推進			
令和 3 年度までの施策の進捗状況					
藤井寺市独自の資源を活用するため、「観光難易度 A 級シティフジデラ」と題し、コロナ禍にも対応したプロモーション活動を積極的に展開することができた。また、藤井寺市の認知度向上をめざし、各課にシティセールスリーダーを設け、積極的かつ自主的に各課の取組を PR できるよう、意識の醸成の研修や情報発信の取組を実施している。そのほか、藤井寺市に合った効果的かつ効率的なシティプロモーションの手法を確立するため、民間企業との連携でマーケティング分析を行っているが、直接的な関係人口や定住人口の拡大を図るまでには至っていない。					
主要施策		評価			
		A	B	C	D
1	「藤井寺ブランド」の確立	●			
2	都市イメージ・認知度の向上		●		
3	愛着・誇りの醸成	●			